

「踏みしめて」第27号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

7月ではまれに見る大きな台風6号が通りすぎ、静岡市葵区井川では降り始め(18日午後6時)からの雨量が20日午後4時現在、764.0ミリに達し、井川駅に止めてある車両が土砂で埋まるなどの被害が報道されました。森町大河内では同時刻378.0ミリの雨量となりました。台風が過ぎてお天気になるとまた猛暑続きが予想されています。熱中症にはくれぐれも注意しましょう。

さて今号は、7月12日に開かれた臨時議会と議員による視察研修についてを主に報告いたします。

教育環境の改善を図る

平成20年度より幼稚園、小中学校の熱中症予防策として、扇風機等の設置を進めてきました。今後も順次教室等へ設置していく予定でしたが、本年度は早い時期から猛暑となり、9月に於いても暑い日が続くと予測されるため、急遽前倒して必要と思われる教室に設置することとなりました。

内訳は、幼稚園21教室42台、小学校49教室98台、中学校20教室31台、総額916万円を補正計上しました。新設扇風機は羽径30cmの天井設置型で、各教室に2台設置する予定です。

平成23年度上下水道課事業予定箇所一覧 (単位 千円)

事業名	事業内容	事業費	地区名	事業年度
天宮区画整理地内配水管布設替工事	φ150(DIP-NS) L=50m φ50(PE) L=15m	5,000	天宮	H23
宮代東地内配水管布設替工事	φ150(DIP-NS) L=80m φ100(SSP-HPE) L=160m	20,000	宮代東	H22~H23
赤根・谷崎地内配水管布設替工事(中遠広域)	φ100(DIP-NS) L=200m φ100(SGP-NC) L=25m	26,000	赤根谷崎	H21~H24
森川橋関連配水管布設工事(3工区)(添架水管橋)	φ200(SSP) L=112m φ200(DIP-NS) L=6m	36,960	下宿戸綿	H23~H24
森川橋関連配水管布設工事(1・9工区)(都市計画街路)	φ200~75(DIP-NS) L=178m φ50以下(PE) L=3m	22,050	下宿栄町上	
森川橋関連配水管布設工事(5・8工区)(都市計画街路区間県・町道枝線)	φ50以下(PE) L=207m	5,670	下宿栄町上	
栄町中地内配水管布設替工事	φ300・150(DIP-NS-K) L=90m φ100・50(HPE-PE) L=536m 不断水仕切弁φ300 2箇所 不断水分岐φ300×300・100 3箇所	32,970	栄町中	H23
東組地内配水管布設替工事	φ75(HPE) L=40m φ50(PE) L=204m	8,190	東組	H23
無指定工事		10,500		H23
下水道汚水管渠築造工事	φ150(PRP-VP) L=3,117m 開削工、推進工	256,900	森	

平成22年度の上下水道課と庶務課の事業予定箇所が決まりました。内容は、いろいろな要因により変更する場合があります。

議会改革 研修報告

7月12日に袋井市森町議会議員研修会が開かれました。今回の講師は山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏でした。地方議会に関する研究をされていて、多くの議会改革に関わってきました。

江藤氏の講義は、私も多くを同感しました。

◆概要

地方議会は執行機関（首長側）を監視する機関である。その機能を十分に働かせ、立法、予算決定、決算認定をしていく。

多くの地方議会の現実には、監視機能を無くした追認機関と化し、自治体改革でも住民参加や外部評価委員会の登場で蚊帳の外に出され、住民が満足していない地方議会である。アンケート結果では半数以上が不満と回答している。

近年の地方政治は首長主導型が強調されている。首長はマニフェストを推進するために首長与党を作り、反対する者は議会・議員であれ住民であれ「敵」と映る。この首長主導型は、地域民主主義にとって最も重要な討議を軽視することになる。（例：名古屋市、大阪府）

これからの地方議会は、閉鎖的ではなく住民に開かれ住民参加を促進し、与野党関係は存在せず、監視と政策立案の役割を発揮しつつ、議員の質問に対する執行機関からの反問権も認めるなど首長とも切磋琢磨し、質問の言いっぱなしではなく、議員の存在意義である議員同士の討議と議決を重視する議会となることである。これらをルール付け明文化したものが議会基本条例である。

自分たちの命は自分たちで守るしかない！ 研修報告

東日本大震災による甚大な被害を見て、森町議会は6月15日に太田川ダムの耐震性と浜岡原発の津波対策について視察研修を実施しました。

研修では、当該地域で過去に起きた大地震の歴史（慶長地震1605年以降）を基に設定された基準を全てクリアしている説明を受けました。

今回の研修によりはっきりしたことは、災害対策は、過去の歴史や現代の科学を基に考えた想定範囲のみでしか出来ず、それ以上の対策は不必要とせざるを得ないということでした。

つまり、私たちは私たちで、想定外の災害や事故が発生した時の万が一を想定した防災方法を独自で準備しておくことが必要だということです。

森町防災計画の早期見直しを要求

森町議会は6月24日定例会最終日に、森町地域防災計画の早期見直しに関する決議を行いました。

決議内容については、「自然災害は想定を超えることがある」ということを念頭に、次の5つを追加重点項目として、防災態勢の強化を図るよう、早期見直しを求めました。

1. 自治体機能の低下若しくは失いかけた時の措置
2. 浜岡原発が福島第一原発と同様以上の事故を起こした時の措置
3. 太田川ダムに異常が発生した場合の措置
4. 情報収集及び伝達方法を確立するための措置
5. その他東日本大震災の教訓を活かし、必要と思われる措置

みんなで森ほたる 8/1~8/15

今年も森ほたるの季節がやってきました。東日本大震災被災後の状況を見ても分かるように、いざというときに一番大事なことは人と人とのふれあいです。森ほたるが示すものとまったく同じです。

森ほたるが森町コミュニティの象徴となるよう、みんなで森ほたるを創りあげていきましょう